

平成27年度練馬区重症心身障害児(者)を守る会研修会

重症心身障害児者の摂食

～ 再調理の方法～

健常者は食事を摂るということをなんの苦勞もなく行ないますが、重症心身障害児者にとっては、個々の障害によっては困難をとめない、嚥下機能に合わせた適切な食物形態や安全な介助が必要になります。

そこでこの講座では、重症心身障害児者の摂食について学びます。三年連続講座の最終年の今年、「再調理の方法」として、市販されている惣菜を使って、子どもの嚥下機能に対応した初期食・中期食など適切に再調理する方法を学びます。家庭や施設で安全に楽しく食事の時間を過ごせる工夫を身に着けませんか。

子どもたちが生き生きとした日々を過ごせるよう障害のある子どもの保護者、またその支援者を対象として講座を実施いたします。昨年度・一昨年度に学んだ摂食機能や食物形態と介助についておさらいをしますので、今回だけのご参加でも結構です。

障害の重い子どもたちの療育に関心のある方など、多くの方の参加をお待ちしています。

記

日 時 平成27年11月1日(日) 13:00～16:00

会 場 練馬区立光が丘区民センター 2階 調理室
練馬区光が丘2-9-6 (地図 裏面参照)

交 通 都営大江戸線 光が丘駅下車 徒歩1分

講 師 特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所

小暮 美代子 氏 (元都立学校栄養士、現介護食アドバイザー)

白鳥 芳子 氏 (元特別支援学校教諭、現摂食指導アドバイザー)

時 程 12:30～ 受付開始

13:05～14:00 講演

14:10～16:00 講演・調理実習

参加者 障害児者の家族、施設職員、ホームヘルパー 他

持ち物 エプロン・三角巾

参加費 資料代・実習材料費として800円

申込締切 10月19日(月) 同封の参加申込書でお申し込みください

* 25名定員の会場です。申込順で受け付けますので定員に達しましたらご了承ください。

主 催 練馬区重症心身障害児(者)を守る会

協 力 東京都重症心身障害児(者)を守る会

問合せ・申込み 練馬区重症心身障害児(者)を守る会

宮内 理栄子 Tel/Fax 03-3976-8403

* 駐車場には限りがあります。公共交通機関をご利用ください。

《講師紹介》

・特定非営利活動法人 地域ケアさぼーと研究所

東京都西部地域で約12年にわたり、障害が重い人たちの地域生活支援、支援者の育成、人材開発事業を行っています。学校卒業後の生涯学習支援「訪問カレッジ@希林館」などの事業の他に、「重度訪問介護従業者養成研修事業」「医療的ケア児・者の支援者育成事業」「特別支援学校看護師スキルアップ研修」「介護食調理講座」などを行っています。

飯野順子理事長は2012年、「アジア太平洋障害者の十年」最終年記念の功労者として内閣総理大臣賞表彰を受賞されました。

・講師 小暮 美代子 氏 (元都立学校栄養士、現介護食アドバイザー)

形態別調理による給食の工夫は、37年前に知的障害学校から実施しています。肢体不自由校では、27年前に再調理の給食から別調理の給食を実施しています。

NPO 法人地域ケアさぼーと研究所の重症心身障害児・者への支援者の育成事業の「介護食調理実習」を担当。年間8日 《みよ子さんの「ハッピークッキング」おいしい食物形態別調理（介護食）の基礎と調理》を開催。

・講師 白鳥 芳子 氏 (元特別支援学校教諭、現摂食指導アドバイザー、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士)

30年以上肢体不自由教育に携わり、摂食指導についての研究をしており、都内や近隣の県の特別支援学校の摂食研修会の講師をしています。

NPO 法人地域ケアさぼーと研究所の重度訪問介護従業者養成研修の摂食指導を担当。

《会場案内図》



都営大江戸線 光が丘駅下車 徒歩1分